１．あなたご自身のこと

■分析対象者数

日本国内在住の HIV 陽性者による回答を分析対象としました（居住地を国外と回答した方は分析対象から除いています）。第 4 回調査の分析対象者数は 810 人でした。これまでの調査の分析対象者数は、第 1 回調査が 913 人、第 2 回調査が 1038 人、第 3 回調査が 908 人です。

なお、各図表に示している N は当該項目の有効回答数です。

■性別・セクシュアリティ

性別は男性が 765 人(94.4%)、女性が 33 人(4.1%)、その他が 5 人(0.6%)、答えたくないと回答した方が 7 人(0.9%)でした（図 1-1）。男性の割合は第 1 回 95.9%、第 2 回 97.4%、第 3 回 96.8%、第 4 回 94.4%でした。

セクシュアリティについては、第 4 回調査の選択肢のまま集計すると、「ゲイ（男性同性愛者）」が 667 人(82.4%)ともっとも多く、「バイセクシュアル（両性愛者）」が 75 人(9.3%)、「ヘテロセクシュアル（異性愛者）」が 41 人(5.1%)と続いていました（図 1-2）。

過去の調査回と選択肢が異なるため、比較にあたっては選択肢を統合しています（ゲイとレズビアンを「ゲイ・レズビアン（同性愛者）」に、クエスチョニングを「その他」にまとめています）。統合後でみると、第 4 回調査では「ゲイ・レズビアン（同性愛者）」が 670 人(82.8%)ともっとも多く、「バイセクシュアル（両性愛者）」が 75 人(9.3%)、「ヘテロセクシュアル（異性愛者）」が 41 人(5.1%)と続いていました（図 1-3）。

トランスジェンダーであるかについては、「はい」が 12 人(1.5%)、「いいえ」が 798 人(98.5%)でした（図 1-4、第 4 回調査のみ）。

図 1-1 性別（%）

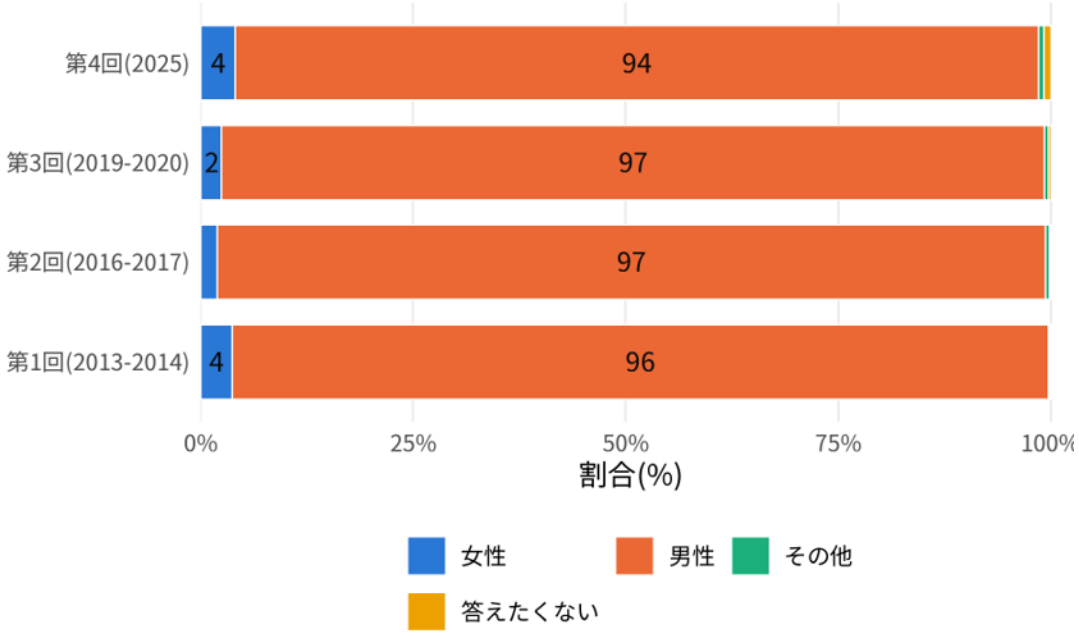
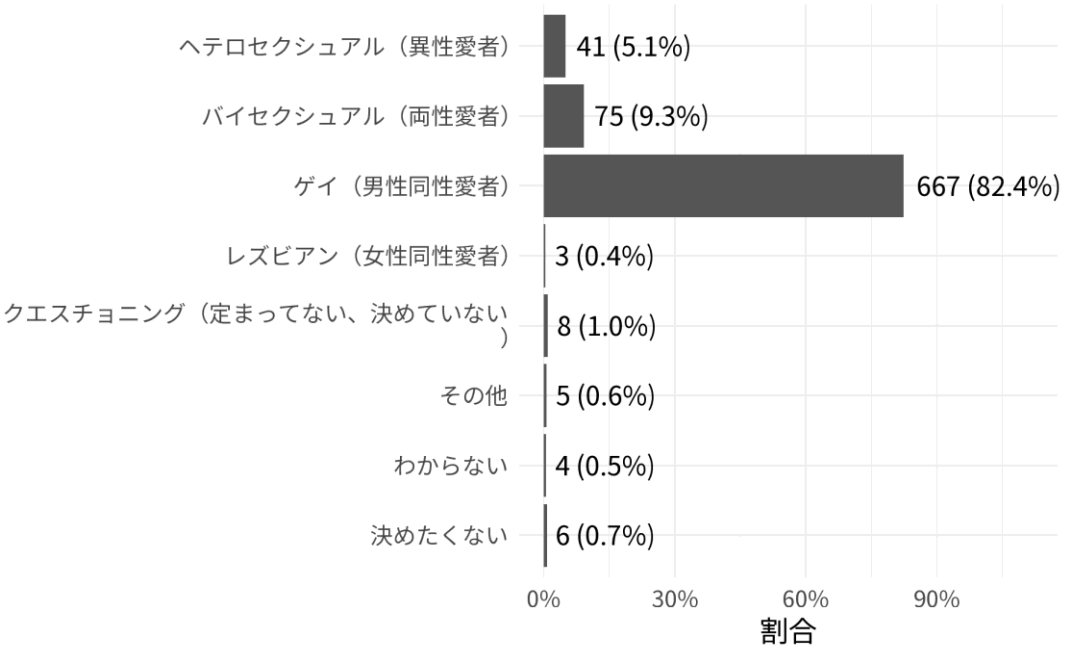


図 1-2 セクシュアリティ(第 4 回調査の選択肢)（N=809）



注: 第 4 回調査の選択肢のまま集計したもの。次の図では他の調査回に合わせて選択肢を統合している

図 1-3 セクシュアリティ（%）

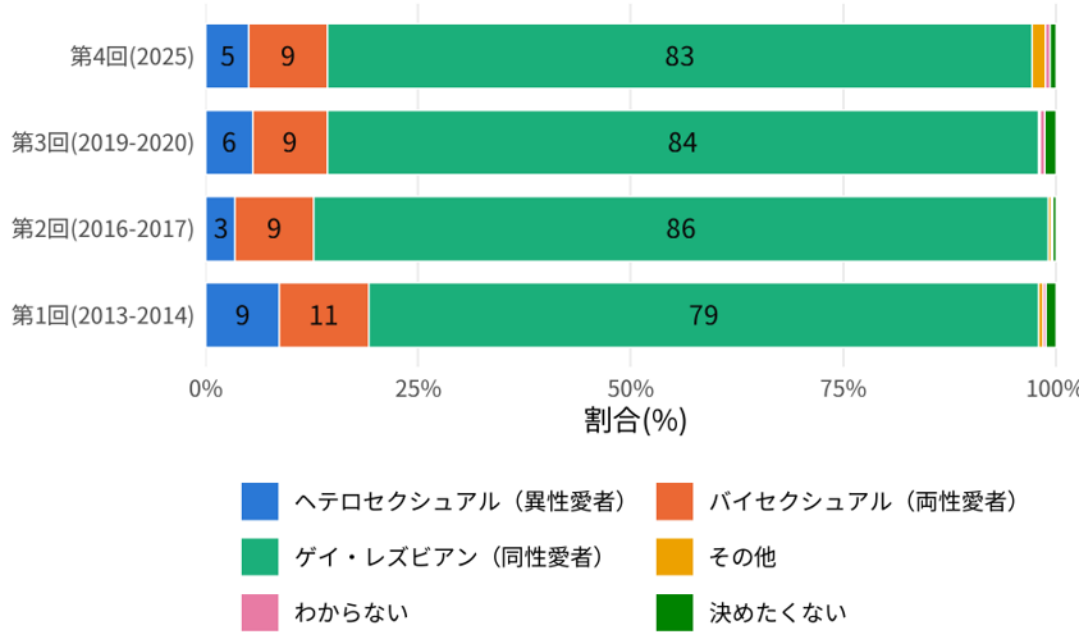
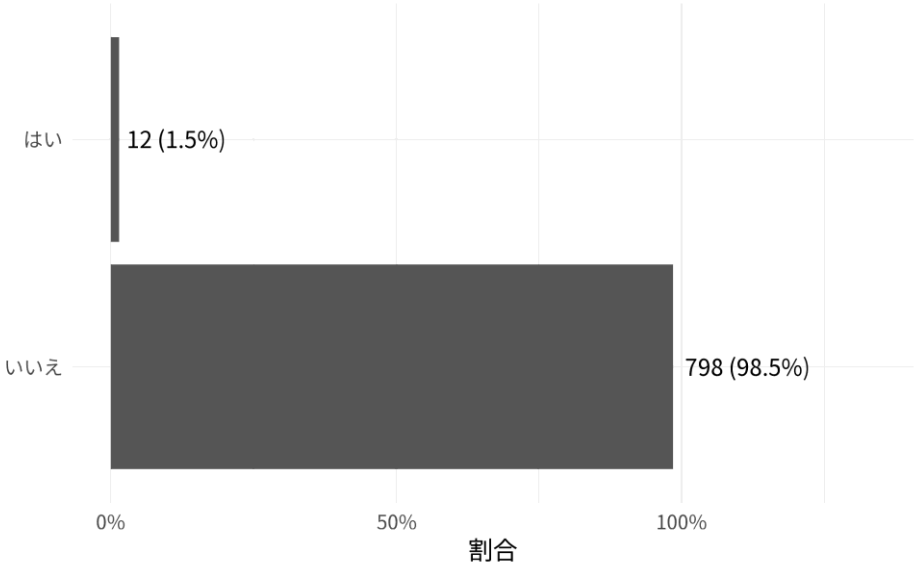


図 1-4 トランスジェンダー（N=810）

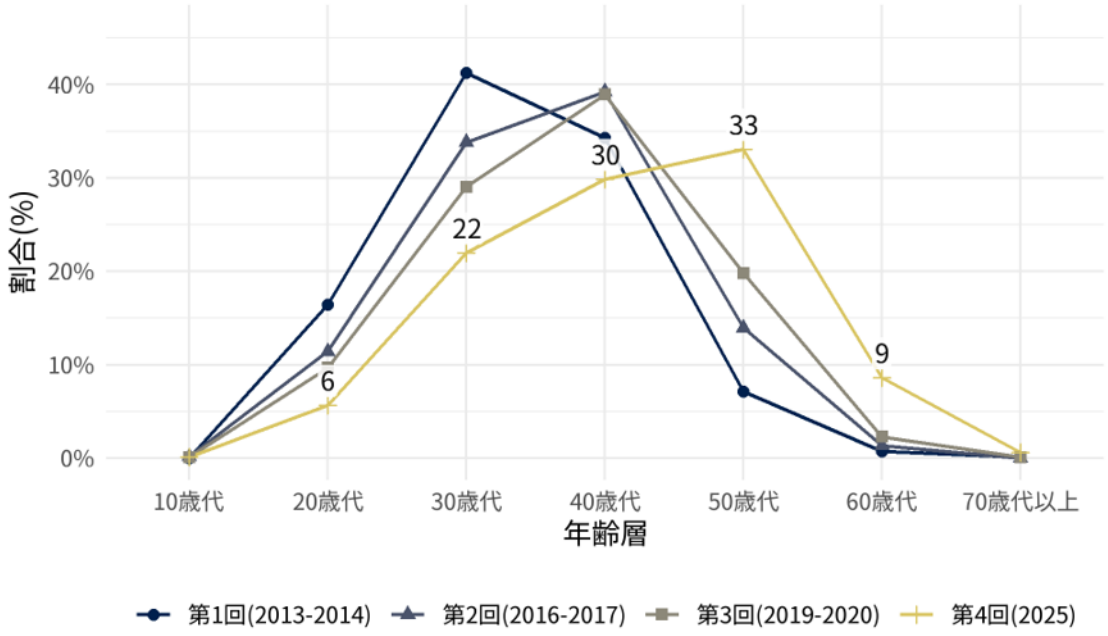


■年齢

第 4 回調査の回答者の年齢は 19 歳から 100 歳にわたっており、中央値（真ん中の値）は 47 歳、平均は 46.2 歳（標準偏差 10.5）でした。年齢の中央値は第 1 回 38 歳、第 2 回 40.5 歳、第 3 回 43 歳、第 4 回 47 歳でした。

年齢層別にみると、第 4 回調査でもっとも多いのは「50 歳代」で 268 人(33.1%)、次いで「40 歳代」が 242 人(29.9%)でした（図 1-5）。

図 1-5 回答者の年齢層（%）



注: 各調査回の回答者に占める割合(調査回ごとに合計 100%)。図中の数値は第 4 回の割合

■婚姻・パートナーの状況

法律婚の状況については、「結婚したことはない」が 703 人(86.8%)ともっとも多く、次いで「結婚している」が 69 人(8.5%)、「結婚はしていないが、以前したことはある」が 38 人(4.7%)でした（図 1-6）。「結婚している」の割合は第 1 回 8.1%、第 2 回 6.2%、第 3 回 6.9%、第 4 回 8.5%でした。

第 4 回調査では事実婚についても尋ねています。法律婚と事実婚を組み合わせると、「法律婚経験なし，現在事実婚なし」が 590 人(72.9%)ともっとも多くなっていました（図 1-7）。自治体の「同

性／性的少数者パートナーシップ制度」の利用状況については、「利用している」が 47 人(6.3%)でした（図 1-8）。

図 1-6 法律婚の状況（%）

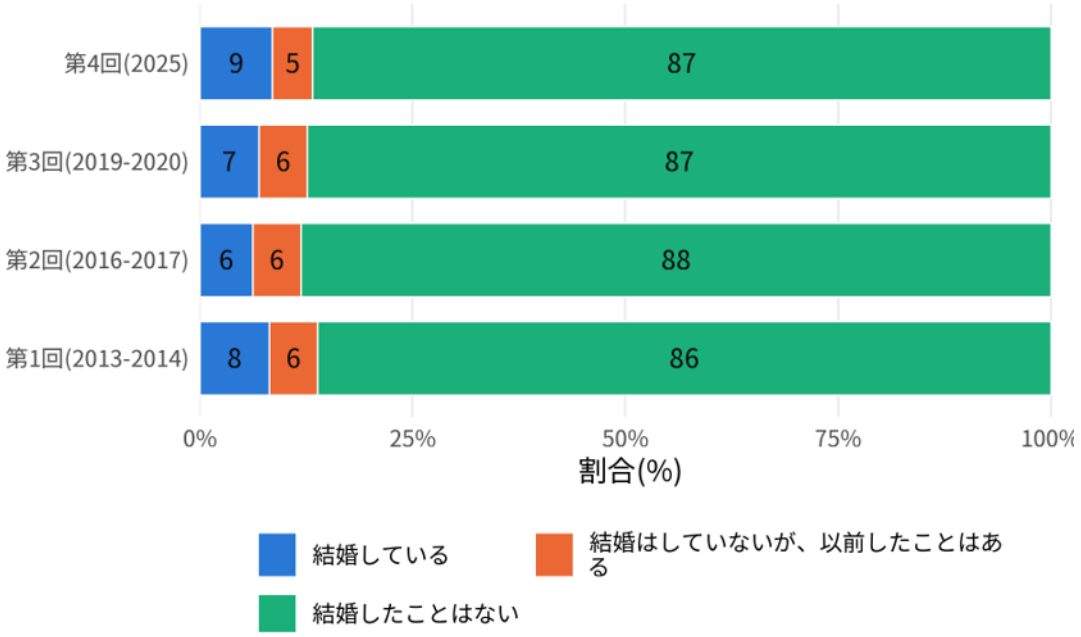


図 1-7 法律婚・事実婚の状況

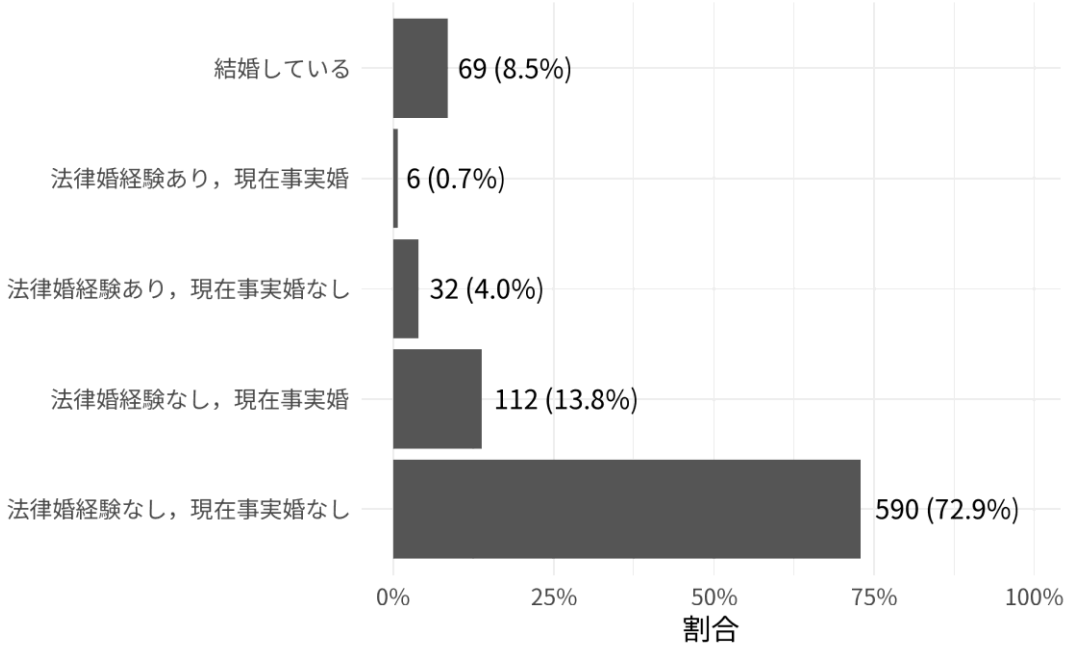
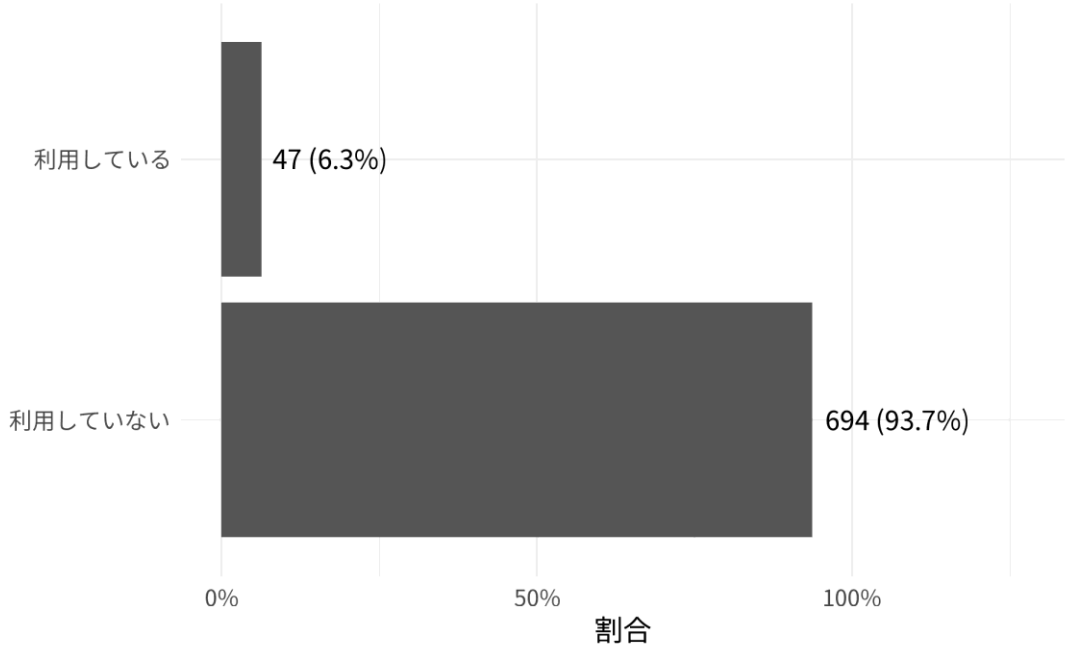


図 1-8 同性／性的少数者パートナーシップ制度の利用状況（N=741）



■同居者の状況

同居者の状況（複数回答、第 4 回調査の回答者 810 人）について、選択が多かったのは「なし（一人暮らし）」が 54.9%、「同性のパートナー・付き合っている相手」が 17.9%、「親」が 16.0%、「妻」が 6.5%、「子ども」が 3.5%でした（表 1-1）。

表 1-1 同居者の状況

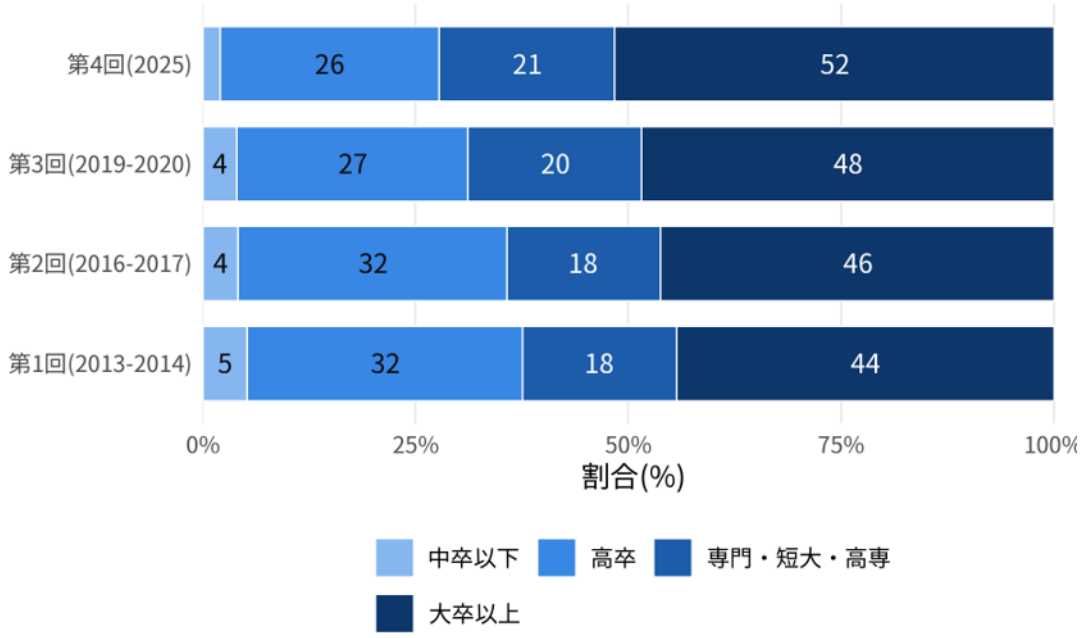
項目	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
なし（一人暮らし）	46.5	53.0	51.0	54.9
夫	1.3	0.5	0.7	1.6
妻	5.9	4.8	5.8	6.5
同性のパートナー・付き合っている相手	13.8	12.5	14.7	17.9
異性のパートナー・付き合っている相手	1.2	0.8	0.1	0.6
親	27.2	24.8	24.0	16.0
義父母	0.8	0.6	0.4	0.6
子ども	3.9	3.4	3.8	3.5
きょうだい（兄弟姉妹）	9.0	7.2	6.7	3.2
祖父母	2.4	1.5	1.1	0.6
孫	0.1	0.1	0.1	0.0
その他親戚	1.3	0.6	0.8	0.9
同性の友人	3.1	2.8	2.3	2.0
異性の友人	0.3	0.3	0.3	0.1
その他	0.7	0.8	1.4	0.6

表中の数値は各調査回の回答者に占める割合（%）です。

■最終学歴

最終学歴は「大卒以上」が 413 人(51.6%)ともっとも多く、次いで「高卒」が 206 人(25.8%)、「専門・短大・高専」が 165 人(20.6%)でした（図 1-9）。

図 1-9 最終学歴



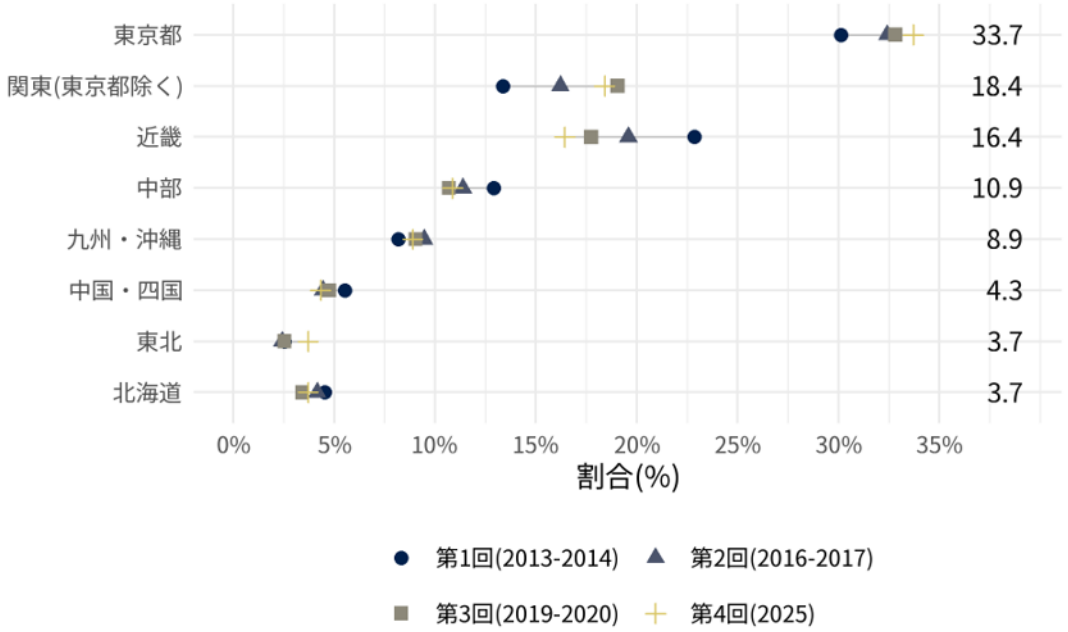
注: 最終学歴は最後に通った学校と在学ステータスを組み合わせ、卒業の場合はその学校種別、中退・在学中の場合は教育階層で 1 つ下位の学校種別（大学中退・大学在学中はいずれも「高等学校」）としたうえで、「中卒以下」「高卒」「専門・短大・高専」「大卒以上」の 4 区分にまとめています。学校種別が「その他」の回答は 4 区分に位置づけられないため、無回答と同じく分母から除いています。

■回答者の居住地

回答者の居住地（地方ブロック）は「東京都」が 273 人(33.7%)ともっとも多く、次いで「関東(東京都除く)」が 149 人(18.4%)、「近畿」が 133 人(16.4%)でした（図 1-10）。

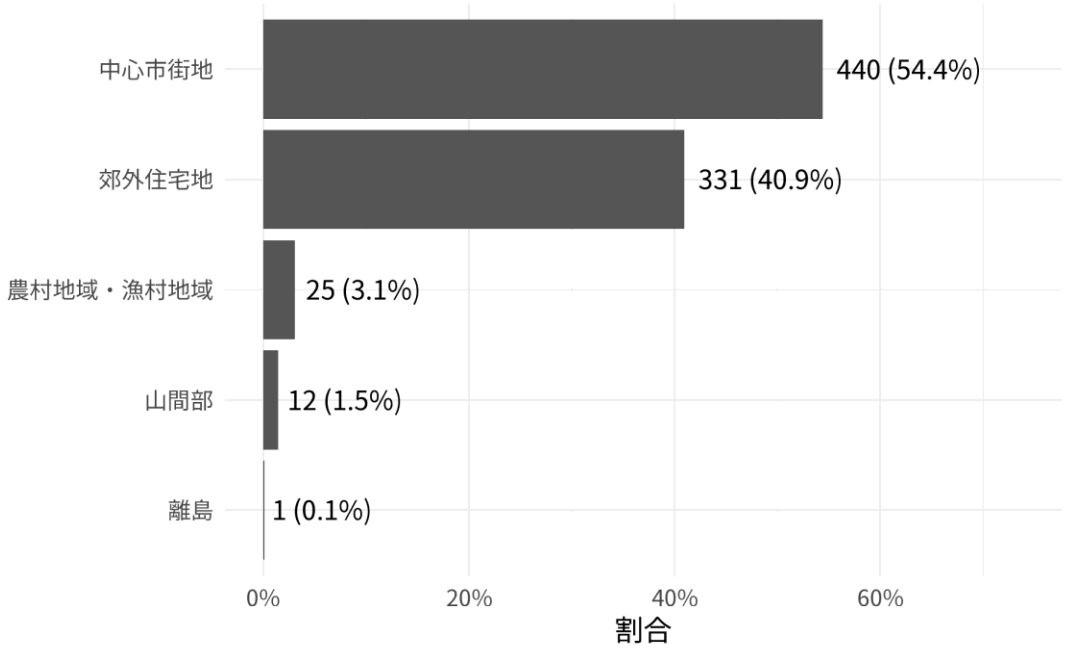
居住地の特徴については、「中心市街地」が 440 人(54.4%)、「郊外住宅地」が 331 人(40.9%)で、この 2 つで 95.3%を占めていました（図 1-11、第 4 回調査のみ）。

図 1-10 居住地(地方ブロック)



注:各調査回の回答者に占める割合。第 4 回の多い順に並べている。右端の数値は第 4 回の割合

図 1-11 居住地域の特徴（N=809）



■HIV 陽性であることを理由とした引越し

HIV 陽性であることを理由に引越した経験がある方（1 回以上）は、過去 3 年以内では 12 人(1.5%)で、その内訳は 1 回が 9 人、2 回が 3 人でした（図 1-12）。3 年前以前では 27 人(3.3%)で、その内訳は 1 回が 20 人、2 回が 6 人、3 回が 1 人でした（図 1-13）。いずれも第 4 回調査のみの項目です。

図 1-12 HIV 陽性を理由とした引越し回数(過去 3 年以内)（N=810）

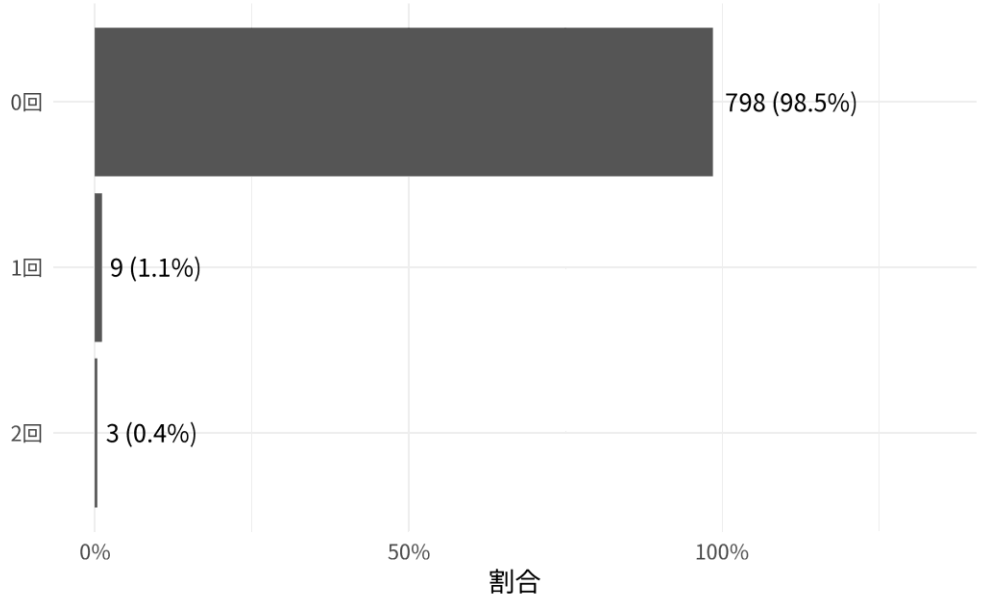
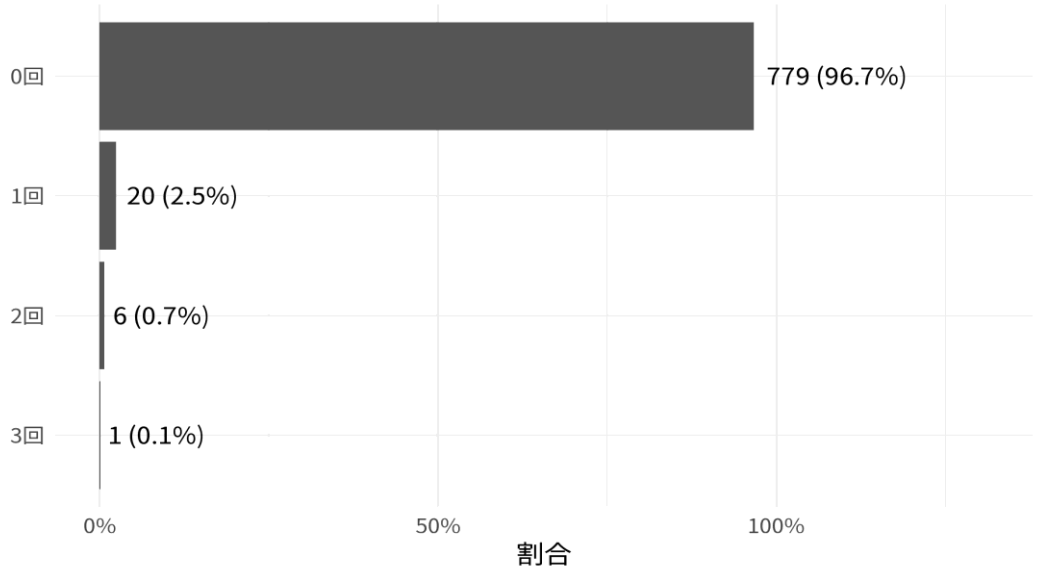


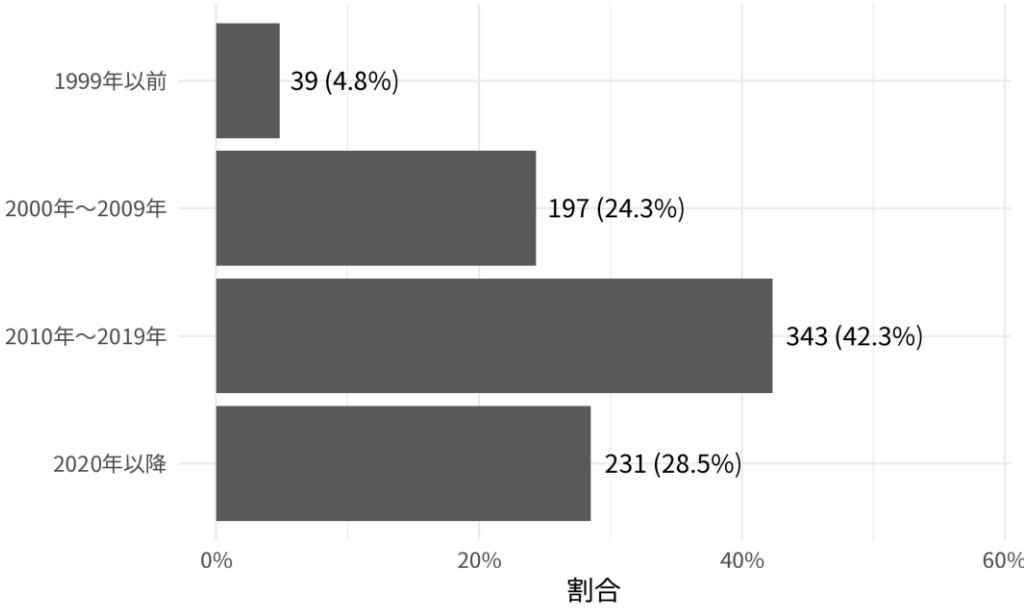
図 1-13 HIV 陽性を理由とした引越し回数(3 年より前）（N=806）



■HIV 陽性とわかったときの状況

HIV 陽性であることを知った時期は、「2010 年～2019 年」が 343 人(42.3%)ともっとも多くなっていました。2020 年以降に陽性であることを知った方は 231 人(28.5%)でした（図 1-14、第 4 回調査のみ）。

図 1-14 HIV 陽性であることを知った時期（N=810）



■現在の健康状態

AIDS 発症の状況については、「医師に AIDS 発症していると言われた」が 199 人(24.6%)、「医師からは言われていないが、AIDS 発症していると思う」が 14 人(1.7%)、「AIDS 発症したことはない」が 565 人(69.8%)でした（図 1-15、第 4 回調査のみ）。

最新の CD4 細胞数を第 4 回調査の選択肢のまま集計すると、「651 個／μℓ以上～1000 個／μℓ」が 250 人(30.9%)ともっとも多く、次いで「501 個／μℓ以上～650 個／μℓ」が 164 人(20.2%)でした（図 1-16）。過去の調査回では 651 個／μℓ以上が 1 つの区分だったため、比較にあたってはこれらを「651 個／μℓ以上」に統合しています。統合後でみると、第 4 回調査で「651 個／μℓ以上」と回答した方は 308 人(38.0%)、日和見疾患の危険性が高まる 200 個／μℓ以下（「50 個／μℓ以下」と「51 個／μℓ～200 個／μℓ」の合計）と回答した方は 70 人(8.6%)でした（図 1-17）。「651 個／μℓ以上」の割合は第 1 回 19.0%、第 2 回 30.2%、第 3 回 29.3%、第 4 回 38.0%でした。

最新の血中ウイルス量（HIV-RNA）を第 4 回調査の選択肢のまま集計すると、「検出限界値未満」が 587 人(72.5%)ともっとも多く、次いで「検出されたが 200 コピー未満」が 99 人(12.2%)でした（図 1-19）。第 1 回調査では 1,000 コピー未満が 1 つの区分だったため、比較にあたってはこれらを「検出されたが 1,000 コピー未満」に統合しています。統合後でみると、第 4 回調査で「検出

限界未満」だった方は 587 人(72.5%)でした（図 1-20）。「検出限界未満」の割合は第 1 回 54.7%、第 2 回 70.9%、第 3 回 69.9%、第 4 回 72.5%でした。

値を知っている方（「知らされていない」「わからない」「答えたくない」を除く）に限ると、第 4 回調査で CD4 細胞数が「651 個／μℓ以上」だった方は 40.8%、血中ウイルス量が「検出限界未満」だった方は 77.1%でした（図 1-18、図 1-21）。

図 1-15 AIDS 発症の状況（N=810）

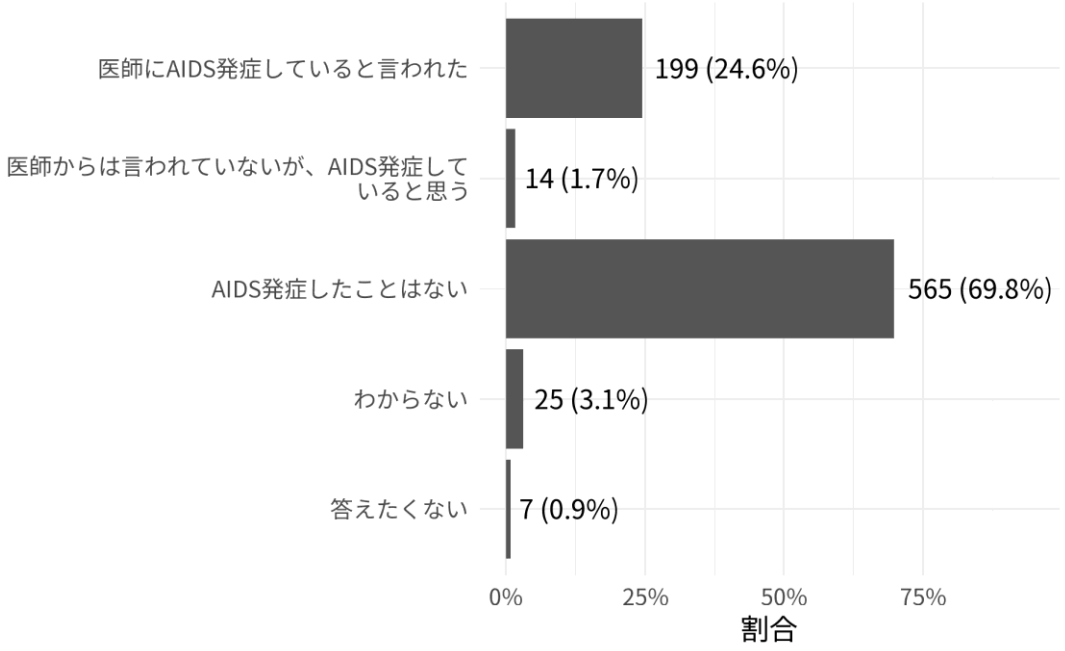
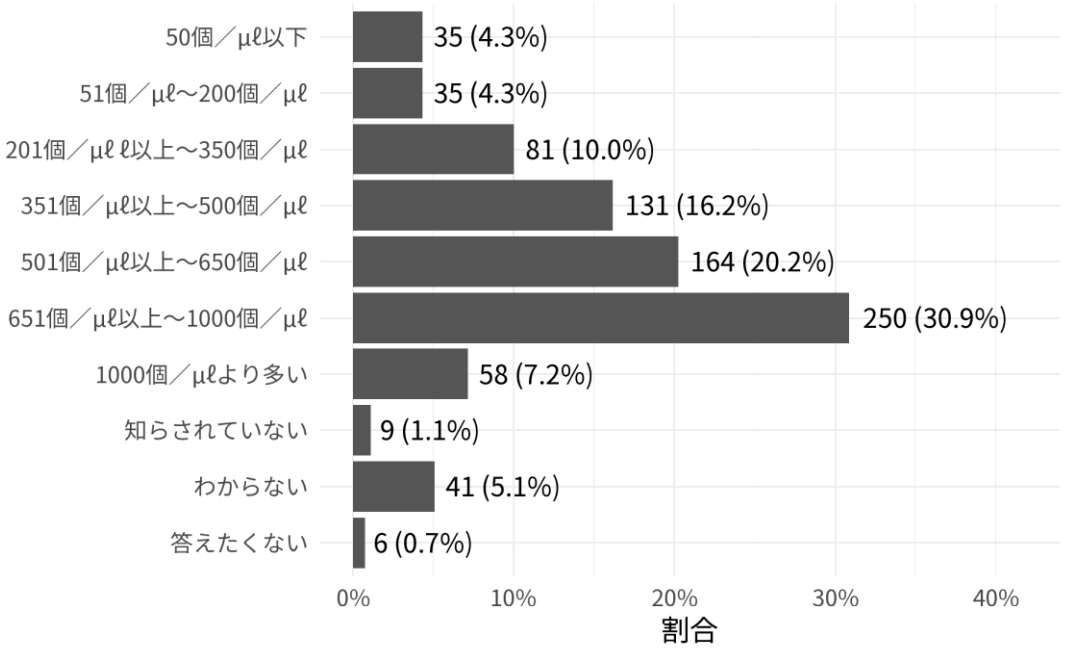


図 1-16 CD4 細胞数(第 4 回調査の選択肢)（N=810）



注: 第 4 回調査の選択肢のまま集計したもの。次の図では他の調査回に合わせて選択肢を統合している

図 1-17 CD4 細胞数

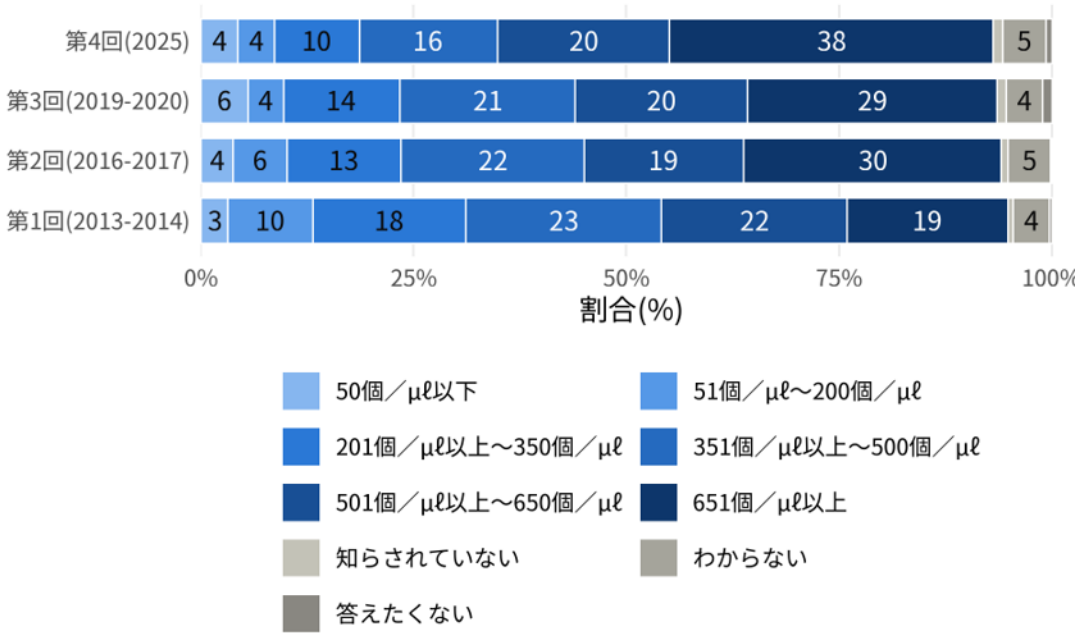
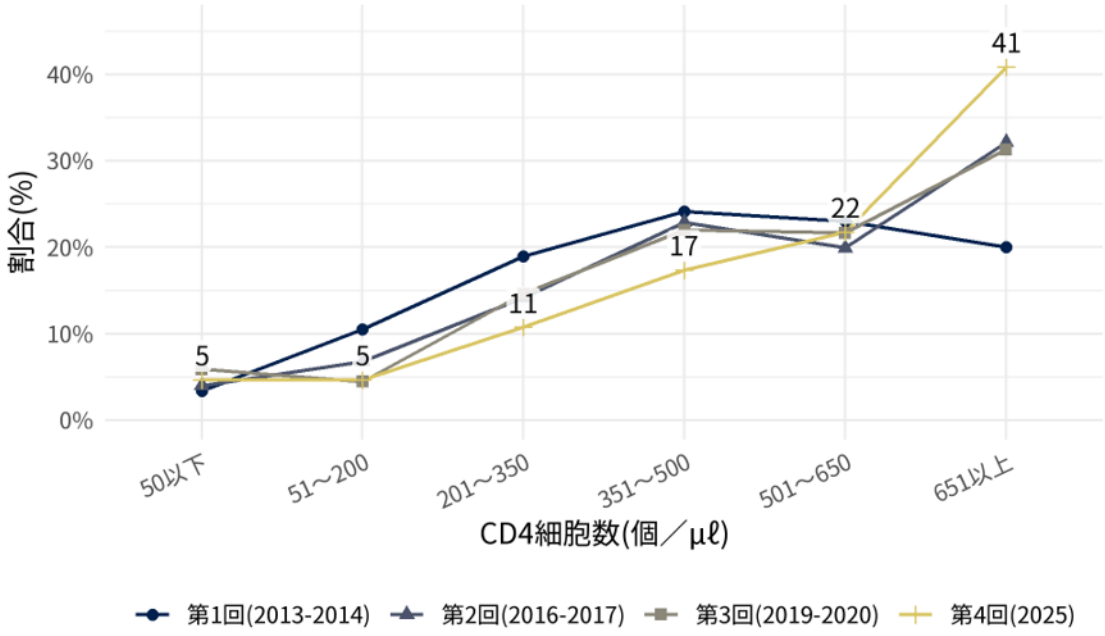
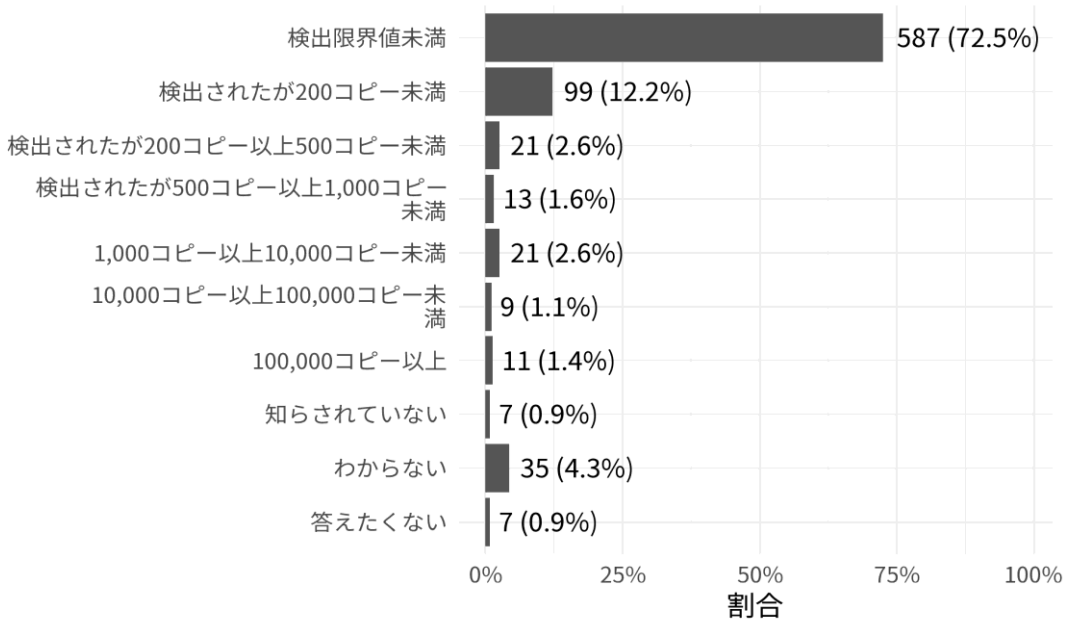


図 1-18 CD4 細胞数(値を知っている方の分布)



注:「知らされていない」「わからない」「答えたくない」と回答した方を除いた分布(調査回ごとに合計 100%)。図中の数値は第 4 回の割合

図 1-19 血中ウイルス量(第 4 回調査の選択肢)（N=810）



注: 第 4 回調査の選択肢のまま集計したもの。次の図では他の調査回に合わせて選択肢を統合している

図 1-20 血中ウイルス量(HIV-RNA)

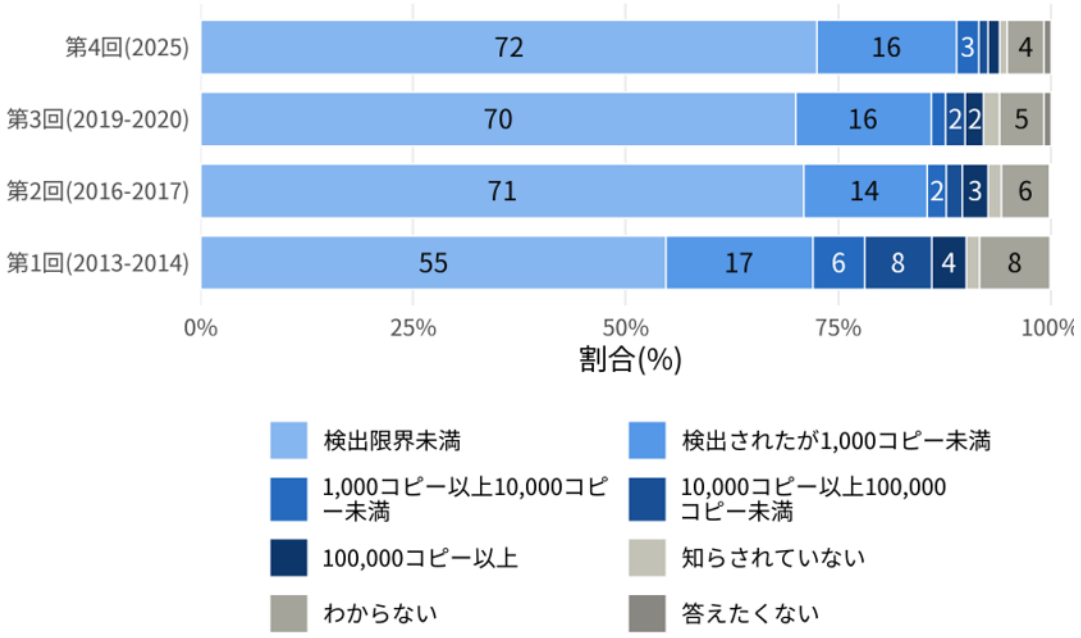
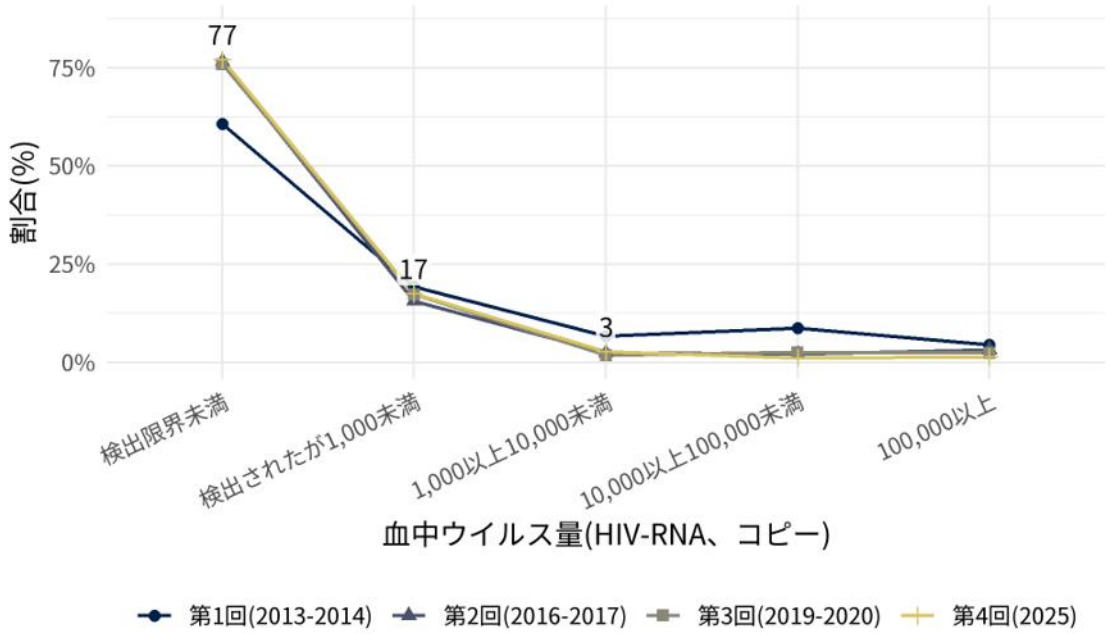


図 1-21 血中ウイルス量(値を知っている方の分布)



注:「知らされていない」「わからない」「答えたくない」と回答した方を除いた分布(調査回ごとに合計 100%)。図中の数値は第 4 回の割合

■調査への回答に関する項目

HIV 陽性者を対象としたアンケート調査への協力経験が「ある」方は 429 人(53.0%)でした（図 1-22）。「ある」の割合は第 1 回 39.4%、第 2 回 51.5%、第 3 回 50.1%、第 4 回 53.0%でした。協力回数は「0 回」が 380 人(47.1%)ともっとも多くなっていました（図 1-23）。

図 1-22 他の HIV 陽性者対象調査への協力経験（%）

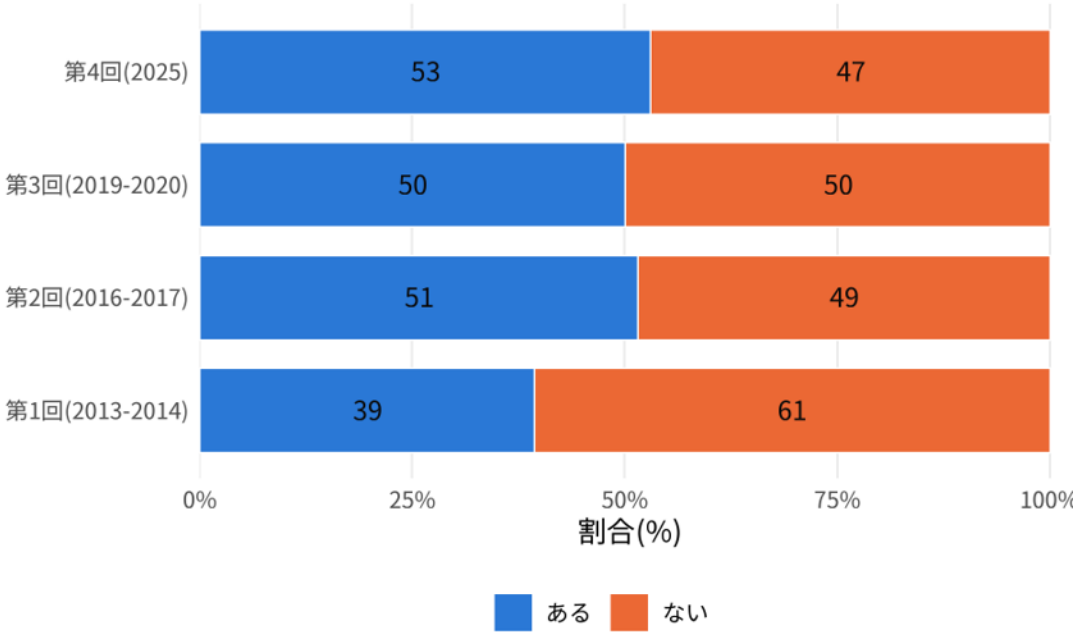
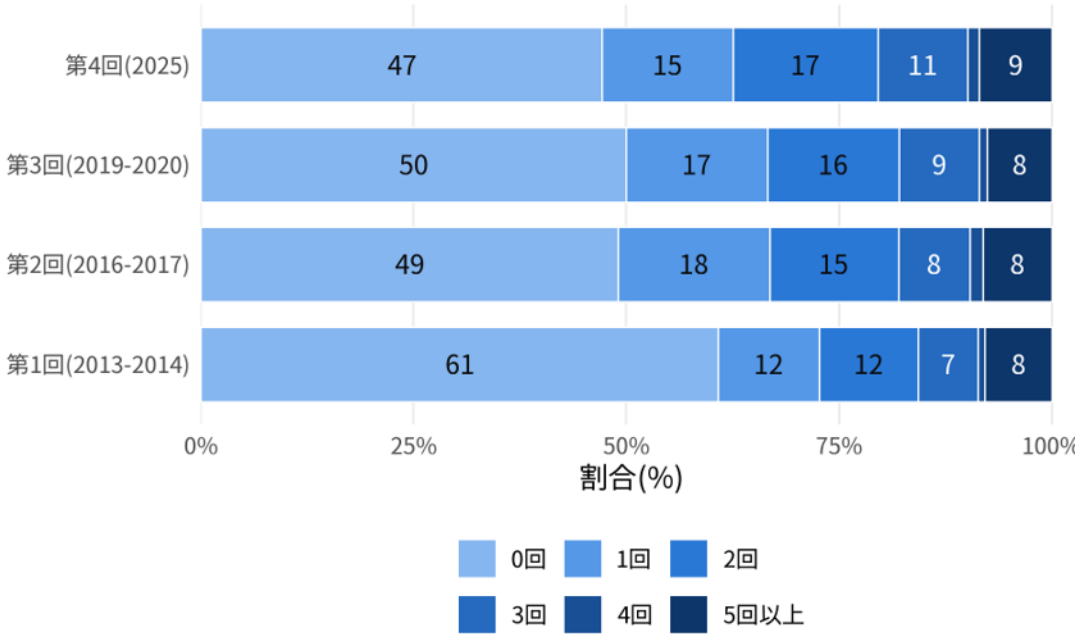
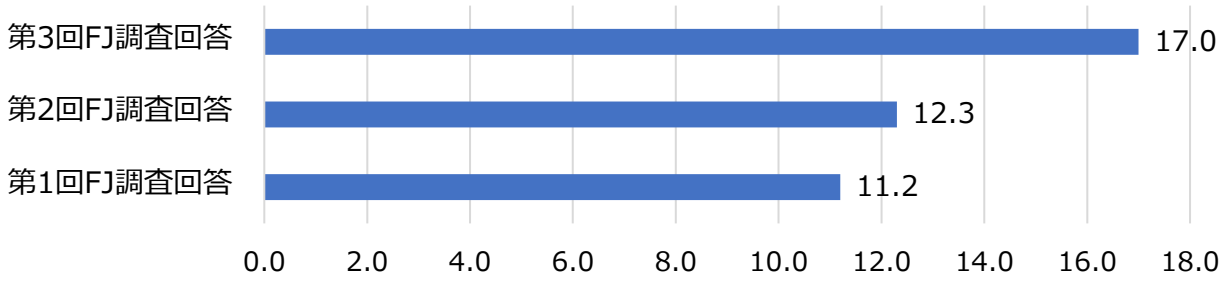


図 1-23 調査協力回数（%）



今回の第４回調査での、FJ 調査の第１回から第３回までの調査回答経験者については、図 1-24 に示したように、いずれも１割以上で回答経験がありました。

図 1-24 第１回から第３回までの Futures Japan 調査回答経験者の割合（%, N=810）



本調査を知ったきっかけ（複数回答、第４回調査の回答者 810 人）は、「9monsters 広告で知った」が 60.0%、「X(旧 twitter)で知った」が 10.5%、「HIV に関する NGO/NPO のメーリングリストで知った」が 8.8%でした（表 1-2）。

回答に使用した端末は「スマートフォン」が 703 人(86.8%)で、経年では第１回 31.8%、第２回 68.9%、第３回 83.5%、第４回 86.8%でした（図 1-25）。

図 1-25 回答に使用した端末

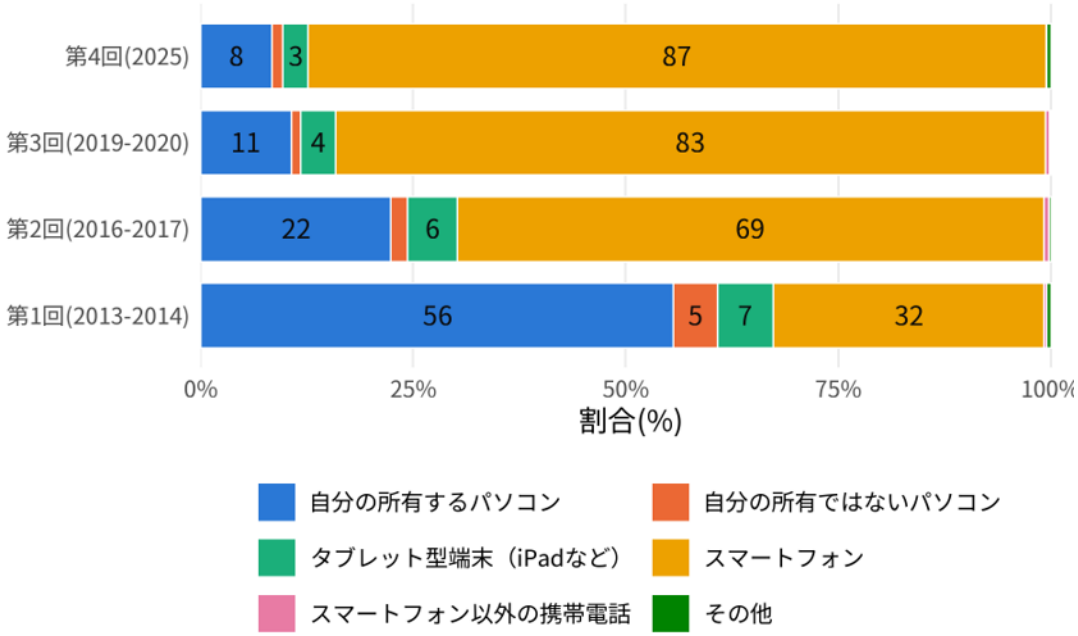


表 1-2 この調査を知ったきっかけ

項目	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
9monsters 広告で知った	—	9.9	63.4	60.0
Futures Japan からのメールで知った	—	2.2	1.3	2.0
JaNP+からのメールで知った	—	0.4	6.4	4.9
Futures 関係者から聞いた	—	0.4	2.4	2.1
Futures Japan の総合情報サイトで見た	—	12.3	3.8	3.0
HIV に関する NGO/NPO の WEB ページで見た	—	5.6	1.5	3.0
HIV に関する NGO/NPO のメーリングリストで知った	—	4.7	0.7	8.8
HIV に関する NGO/NPO のニューズレターなどの印刷物で見た	—	1.7	0.5	1.6
インターネット上のブログや掲示板を見て知った	—	24.6	1.5	2.1
X(旧 twitter)で知った	—	10.1	18.0	10.5
facebook で知った	—	2.4	1.3	2.8
HIV 陽性者向け以外の WEB ページで見た	—	5.4	0.4	0.7
HIV 陽性者向けの SNS で見た	—	8.8	1.3	1.1
HIV 陽性者向け以外の SNS を見て・やりとりで知った	—	7.6	0.3	0.9
Futures Japan 調査のフライヤー・チラシで見た	—	6.8	2.1	1.4
友人・知人から口頭で教えてもらった	—	4.3	2.4	2.2
医療機関のスタッフから口頭で教えてもらった	—	7.0	3.6	2.5
NGO/NPO のスタッフから口頭で教えてもらった	—	3.5	1.4	0.7
他の HIV 陽性者に口頭で教えてもらった	—	2.4	1.0	1.1
検索エンジンで検索して知った	—	3.7	0.5	1.5
噂を聞いて	—	0.9	0.3	0.4
その他	—	0.8	2.5	2.1

注: FJ1 は選択肢が大きく異なるため比較対象外、表中の数値は各調査回の回答者に占める割合（%）です。